

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	地球環境戦略研究機関拠出金	事業開始年度	平成10年度	作成責任者		
担当部局庁	地球環境局	担当課室	総務課研究調査室	室長 小野 洋		
会計区分	一般会計	上位政策	地球環境の保全			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	京都議定書目標達成計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境研究戦略機関(IGES)は、10ヶ国の行政機関、4つの国際機関、21の国際的研究機関の署名による設立憲章に基づき、平成10年3月に発足。 国連環境開発特別総会(平成9年6月)における政府代表演説において「地球環境戦略研究機関による戦略研究の国際的ネットワークづくりを支援する。」旨表明がなされ、我が国政府の地球環境保全への貢献策として位置づけられ、我が国としても積極的に支援していくことを目的とする。 					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> IGESでは、これまでの活動により築いたネットワークや知名度も活かしつつ、顕在化する環境危機に対してより迅速に取り組み、アジア太平洋地域の途上国をはじめとした各国政府、国際機関の環境政策に採用されるような研究成果を提示していくこととしている。さらに単なる研究のみならず、政府間の情報交換の促進や政策形成の支援といった、民間では実施できない高度な公共性および国際性を要する業務を進めている。 このような活動を行うアジア太平洋地域唯一の国際的環境政策研究機関として、アジア太平洋地域の持続可能な開発に向けた取組みに貢献する研究をリードするため、拠出金により支援するものである。 					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> IGESでは平成10年度から第1期～第4期戦略研究プロジェクトを実施。平成22年4月からの第5期戦略研究プロジェクトの実施を予定。 IGESは、ハイレベル地域会合や国際的プログラムにおける政策・技術支援組織として主要な役割を担う他、「アジアにおける2013年以降の気候変動枠組みに係る非公式対話」を通じた国際世論形成への貢献や、アジア途上国におけるCDMに関する体制整備への貢献など、気候変動分野の取り組みをはじめとして、廃棄物・森林など幅広い分野において、戦略研究の実施とその成果の政策形成への反映を行っている。またこの戦略研究の成果は、我が国の環境協力等の戦略立案・効率的実施にも貢献している。 今後も国際研究機関として、各国間の情報交換の促進、政策の調整の支援などを行うため、数多くの国際ネットワークや政策形成に貢献し、我が国の国際環境協力の核となる組織として確立することを目指す。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	550	550	550	500	500
	執行額	550	550	550		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	550	550	550		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	IGESでは、研究の計画、実施、事後の段階において、国内外の著名な研究者等で構成される理事、評議員による年2回の審議を行い、特に実施後においては、3年に一度、主要な研究や活動について各プロジェクトごとに、外国人を含めた第三者による詳細な外部評価を実施している。環境省では、理事会や評議員会に立ち会う、寄付行為に基づき結果の報告を受理するなど、これらのプロセスを把握・監督している。				
	見直しの余地	平成21年11月26日、行政刷新会議第1WGによって行われた(財)地球環境戦略研究機関拠出金に対する事業仕分けを受け、事業内容については高い評価を得たものの管理的経費節減の余地があるとの指摘により、平成22年度同拠出金予算については、平成21年度比5,000万円減の5億円になったところ。この結果を踏まえ、平成22年度においてIGESでは、第5期戦略研究プロジェクトを確実に実施するため、研究の計画、実施、事後の評価を引き続き実施していくとともに、管理費の徹底的な削減等を定めた「経費節減実行計画」を策定して、研究の質の維持・向上を図りつつ、徹底的な無駄の排除と更なる管理的経費の節減及び効率的な研究活動の実施を図ることとし、環境省ではその実施状況及び拠出金の適正な執行の把握に努めていく。				
予算監視の効率化	<p>現状維持</p> <p>(引き続き管理経費の節減を監視しつつ、使途、実施状況の把握に努め、効率的な執行となるよう検討を進めること。)</p>					
補記						

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているかについて補
 足する)
 (単位:百万円)

環境省
550百万円

平成21年度地球環境戦略研究機関拠出金
【目的】
 持続可能な開発の実現に向けた革新的な政策手法の開発や、
 環境保全に関する政策構築のための戦略研究を推進している、
 地球環境戦略研究機関(IGES)の活動を、拠出金により支援する。



【拠出】

A. (財)地球環境戦略研究機関
550百万円

- 第4期戦略研究プロジェクトの実施
- ①アジアにおける持続的開発と気候変動政策に関する研究
 - ②アジア太平洋地域における再生エネルギー利用の促進に関する研究
 - ③グローバル時代のアジアにおける持続可能な森林管理の促進に関する研究
 - ④アジアにおける3Rの効果的促進に関する研究
 - ⑤アジア地域に持続可能社会を構築するためのビジネス活動に関する研究
 - ⑥アジアにおける環境ガバナンスの強化に関する研究

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A. (財)地球環境戦略研究機関			C.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	地球環境戦略研究機関拠出金	550			
計		550	計		0
B.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0